

14 ふる里ふれ愛の径^{みち}



データボード ⑭

- ① 岐阜県上宝村大字在家
- ② 延長397m, 幅員1.5~2.5m
- ③ 擬木手すり, 植栽
- ④ 煉瓦・鉄平石舗装
- ⑤ 神明神社例年祭, 盆踊り, 桂峯寺百観音祭り

上宝村在家地区は、過疎化の進む四十数戸からなる集落である。この地区には、円空仏や昇天竜の墨絵、その他の文化財が多くあるが、大型車が入れず訪れる人も少ない。

「ふる里ふれ愛の径」は、ふるさとに埋もれた文化財の掘り起こしのため、桂峯寺へ続く急勾配の参道を「山村文化のふれあいの場」をテーマに整備したものである。

沿道には色とりどりの花木が植えられ、四季を通じてこの小径を楽しく歩くことができるようになった。また、青少年の心身、体力の鍛錬の場として、都市と山村文化の交流の場としても活用が期待されている。